

IT21の会(平成19年7月)第111回議事録

日 時:平成19年7月6日(金) 18時30分～20時30分

場 所:蒼手第二ビル A・B会議室

出席者:20名

配布資料

- ・0707-1 IP-PBXとその特徴(斉藤 孝史氏)
- ・0707-2 WMSの入門(加納 幸博)
- ・0707-3 合宿委員の募集(第11期役員)
- ・0707-4 会計細則第6条の改定(第11期役員)
- ・0707-5 個人情報保護専門監査人(黒澤 兵夫氏)
- ・0707-6 出席表

議 事

1. 議事および資料確認 斉藤 孝史氏

2. 「IP-PBXとその特徴」 斉藤 孝史氏

PBXとIP-PBXについて紹介された。

2.1 PBXとは

複数の構内電話機を、公衆電話回線網に接続して使用する際の中継装置のことである。いわゆる内線通話機能を持つISDNターミナルアダプターやビジネスホンとは異なる。回線切替機、内線集約装置、内線交換機とも呼ばれる。モデム等、通信機器の解説書には一般的にPBXという略称が用いられることが多い。構外、または電話会社の局内で用いられる交換機は電話交換機として区別される。最近ではIP電話に対応する構内交換機も登場している。

2.2 IP-PBXにより提供されるIP電話の概要

電話をかける相手との間の電話線ではなく、データネットワークで使用されるLANと同じケーブル等で構築する。これに用いられるプロトコルとして、データネットワークと同じIPが用いられるためIP電話といわれる。

これにより、ケーブルをデータネットワークと一纏めにすることができ、物理的に一つのケーブル上を多数の通話およびデータ通信と共有することが可能である。そのため、ケーブルの敷設コストを抑えられ、従来の電話より回線の使用効率をあげることができ、より低いコストでサービスを提供できる。

一言でIP電話といっても、IP化する範囲などにより多様なサービスが存在する。

(途中のネットワークが通信事業社内のネットワークなのかインターネットを経由するのか、電話機を使うのかPCを使うのかなど)

さらに、データネットワークと同一にできるため、データで用いられるアプリケーションと共存させることができる。(例:電話帳、TV電話会議)

IP電話を構築/導入する際には、データネットワークとの共存のため、快適なサービスを提供するための技術的な対策が必要である。特に、音声の遅延や揺らぎは相手にとって聞き取りにくく不快感を与えるため、極力これらを発生させないような配慮がIP電話交換機などに必要である。その他、停電などの障害対策やセキュリティなども配慮すべきである。

2.2.1 従来(レガシー)電話とIP電話の違い(インフラ)

従来電話:電話ネットワークとデータネットワークが別に構成/運用される

IP電話:同一のネットワーク上に電話とデータが共存で構成/運用される

必ずしもIP電話が従来電話に比べて全て勝っているわけではない。同じ会社、

または同じ組織で既にIPが引かれている前提で、会話は無料、ランニングコストが無料になる。ただし、まったく違う会社に電話する場合等には通話料金以外の費用は発生する。

2.3 IP電話に使われる技術とIP-PBXシステム構築の留意点

構築するためには以下のポイントに留意する。

帯域の決定、品質の確保、遅延対策

セキュリティ対策

障害対策

2.4 IP電話サービス

IP電話サービスを提供するにはIP-PBXとIP電話サーバの2種類がある。

各々は導入形態によって適宜使い分けされベターなサービスを楽しむことができる。

2.5 IPセントレックスとは

IP電話サーバをセンター局に設置して、リモート局にはサーバをおかないIPベースの電話システムのことを指す。

2.6 その他

VOIP,ソフトフォンについて紹介された。

3. 「JSSA個人情報保護専門監査」について 黒澤 兵夫氏

2007年度個人情報保護専門監査人資格認定講座(8/20～8/24)について紹介された。

4. 「WMS入門」物流システムの概要 加納 幸博

冊子を基に物流システムの概要を紹介した。

5. 合宿委員の募集と関西情報技術士会(PEAK/IT)との冬季合同合宿についての検討

今後MLにて委員を募集する。

PEAK/ITとの合同合宿については、出来る限り協力したい。

別途IT21単独の合宿を行うか否かについては合宿委員に一任する。

合同合宿についての日程は後日アナウンスする。(第11期役員)

6. 会計細則6条(支出)改訂について

満場一致で可決された。

7. その他連絡事項

7.1 会費徴収の件

今月は会費徴収月に当る為、郵便局に口座を開設し振込みにて徴収する。

口座が開設次第MLでアナウンスする。(田中会計役員)

7.2 技術士会業務委員会より、CPD参加証明書の技術士会標準書式への

準拠を求められているので、現在、例会にて名前を記入している書式を

ベースに書式改良を検討する。

7.3 9月以降の例会幹事募集

(二階堂運営役員)

8. 初参加の方の自己紹介

初参加の和田氏、石井氏、尾崎氏3氏の自己紹介が行われた。

以上(記載者:加納 幸博 記)